

■令和5年度 看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に資する計画

取組内容		対応方法・計画	具体的な取り組み	効果判定の指標	達成目標	R6.3達成状況
業務量の調整	時間外労働が発生しないような業務量の調整	遅出業務	業務分担の効率化	各病棟の時間外労働時間	月45時間を超えない（病棟勤務者の月平均談業時間6時間以内）	
看護職員と多職種との業務分担	薬剤師	薬剤の管理	服薬指導の実施	継続実施の有無	実施の継続	
			持参薬の鑑別の実施	継続実施の有無	実施の継続	
		安全な薬物の施行	薬物療法における各種相談の実施	継続実施の有無	実施の継続	
			T P N のミキシングの実施	継続実施の有無	実施の継続	
	リハビリ	リハビリ時の送迎	リハビリスタッフによる送迎	実施の有無	実施	
			ベッドサイドリハビリの積極的な活用	実施の有無	実施	
			摂食嚥下困難な患者に対するST、OTの活用	実施の有無	実施	
	検査技師	検査体制の充実	健診利用者に対する検査技師による採血業務の継続	派遣技師数	1名/日	
	臨床工学技士	医療機器の管理	医師の指示のもと、臨床工学技士による中央管理の実施	定期点検の達成率	100%実施	
	看護補助者	看護職員の負担軽減	看護師の補助として患者ケア	みなしを除く配置数の確保	100%	
	クラーク	請求品・物品・入力業務の管理、実施	請求品・物品管理におけるクラークの積極的な活用	継続実施の有無	100%	
			電子カルテ導入による入力業務におけるクラーク活用の推進	看護職でなくてもよい入力作業の実施	100%	
	外来受付・クラーク	問診聞き取り	各科再診患者及び整形外科新規患者への問診	実施	実施	
業務課	臨時的ベッド周りのカーテン汚染時の取外し・交換	Nsが行っていた事を他部署へ依頼	他部署の協力実施の有無	実施		
多様な勤務形態の導入	認知症患者や患者数増加時のリリーフ体制等の充実	時間外労働者（パート職員）の積極的活用	採用の有無	採用		
	一定の休憩時間の確保	勤務間インターバル制度の普及促進	普及促進	導入の有無		
妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配置	夜勤の減免制度	育児休業規則に準ずる	育児休業規則に明記	希望者への対応	100%	
	休日勤務の制限制度	育児休業規則に準ずる	育児休業規則に明記	希望者への対応	100%	
	半日・時間単位休暇制度	就業規則に準ずる	半日単位での有給休暇・介護休暇・子の看護休暇取得を実施	希望者への対応	100%	
	所定労働時間の短縮	育児休業規則に準ずる	育児休業規則に明記	希望者への対応	100%	
	他部署等への配置転換	希望者の把握	管理者による面接・配置転換	希望の有無	100%実施	
夜勤負担の軽減	夜勤従事者の増員	専従職員の配置	患者数の状況により専従職員の適切な配置	月夜勤平均時間数72時間	100%達成	
	月の夜勤回数の上限定	月平均夜勤時間数の遵守	基準を考慮した勤務表の作成	月夜勤平均時間数72時間 ※夜勤専従者一人144時間	100%達成	